

高知県感染症発生動向調査（月報）

2026年6月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第23週(6月1日～)から第26週(～6月28日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は50.25で5月の37.60と比べて増加した。増加の主因は、手足口病とヘルパンギーナ（両者は初夏の感染症）と新型コロナウイルス感染症の増加である。

新型コロナウイルス感染症について、2023年5月以降の全国と高知県における定点報告数を図に示す。その流行は、2020年度（第1～3波）と21年度（第4～6波）は年3回、22年度（第7～8波）、23年度（第9～10波）、24年度（第11～12波）は年2回のピークがみられていた。25年度は年末年始の流行がなくなり単一のピーク（第13波）を形成し、1年あたりの流行回数は経年的に減ってきた。これまで夏の流行が恒例だったが、本年度も6月に増加傾向が認められており、その流行規模がいかほどかが注目される。

1位は感染性胃腸炎で19.24（5月1位18.51）と横ばいだった。2位は手足口病で12.74（同3位3.39）と増加した。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で9.89（同2位10.49）と横ばいだった。4位はヘルパンギーナで3.09（同11位0.71）、5位は新型コロナウイルス感染症で2.93（同7位1.43）、6位は咽頭結膜熱で2.36（同5位1.71）といずれも増加した。急性呼吸器感染症は188.52で5月の177.90と比べて横ばいだった。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	23週	24週	25週	26週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		4.88	4.94	4.82	4.60	19.24
2	手 足 口 病		1.98	2.75	3.40	4.61	12.74
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.58	2.58	2.48	2.25	9.89
4	ヘルパンギーナ		0.43	0.66	0.85	1.15	3.09
5	新型コロナウイルス感染症		0.42	0.58	0.85	1.08	2.93
6	咽 頭 結 膜 熱		0.62	0.60	0.60	0.54	2.36
	急性呼吸器感染症		45.32	47.05	48.68	47.47	188.52

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

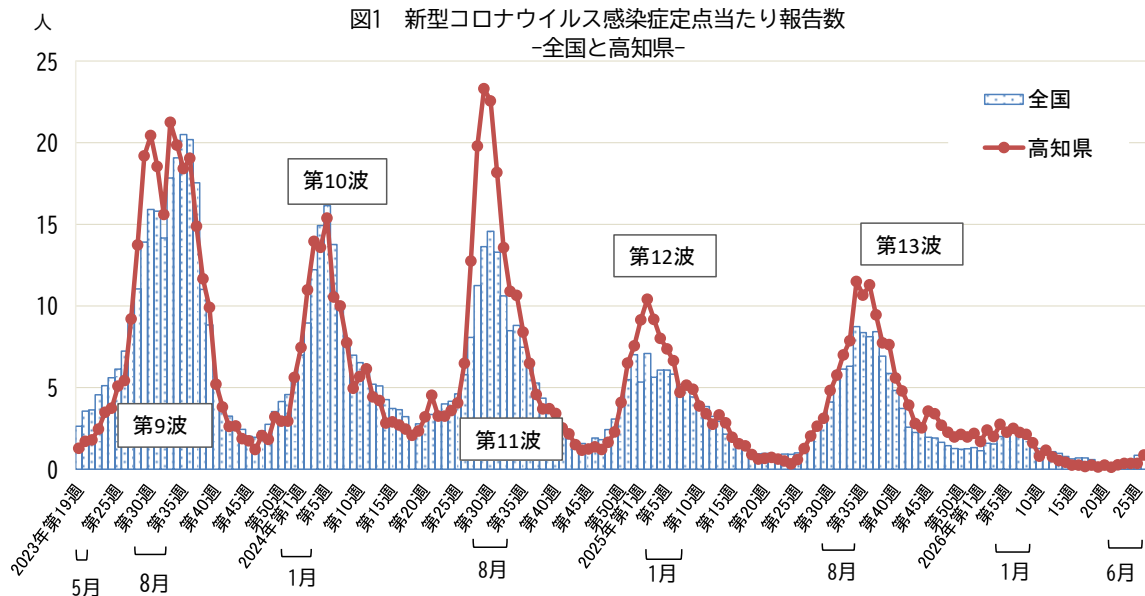
上位6疾患の県内における報告数（表2）の合計は27.80で5月の17.84と比べて増加したが、全国よりも少なかった。

1位は感染性胃腸炎で9.53（5月1位9.30）と横ばいで全国よりも少なかった。2位は手足口病で9.10（同9位0.40）と増加したが全国よりも少なかった。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で3.15（同2位3.25）と横ばいで全国よりも少なかった。4位はヘルパンギーナで2.42（同8位0.50）、5位は新型コロナウイルス感染症で1.91（同7位0.74）、6位は咽頭結膜熱で1.69（同5位1.00）といずれも増加したが全国よりも少なかった。

急性呼吸器感染症は117.84と5月の114.30と比べて横ばいで、全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	23週	24週	25週	26週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		2.37	2.42	2.53	2.21	9.53
2	手 足 口 病		0.42	0.84	2.95	4.89	9.10
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.89	1.05	0.63	0.58	3.15
4	ヘルパンギーナ		0.26	0.37	1.00	0.79	2.42
5	新型コロナウイルス感染症		0.35	0.35	0.35	0.86	1.91
6	咽 頭 結 膜 熱		0.58	0.11	0.58	0.42	1.69
	急性呼吸器感染症		28.41	27.70	32.03	29.70	117.84



2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。麻しんは、第26週（7月1日）までに国内で545例の麻しん患者が報告され、2019年以来の大きな流行になった。30都道府県から報告があり、最多は東京で264名、神奈川 50名、埼玉40名、鹿児島 34名、千葉32名、愛知 28名の順に多い。20歳以上の成人例が72%を占め、「麻しんはおとなの感染症」となっている。今年の流行は国内感染例が多くなったが、国外で感染した43名の内訳は、インドネシアが15名で最多、ニュージーランドが7名、インド4名、ベトナム4名である。

高知県においても、2025年は第46週以降に4人の麻しん患者が報告され、17年ぶりの県内発生であった。本年は6月7日に高知県民の1名が海外からの帰国航空機の中で麻しん患者と接触したので、同28日まで健康観察を行ったが、幸い発症はしなかった。

麻しん対策はワクチン2回接種の徹底に尽きるが、ワクチンの接種率が低迷しており、2024年に高知県は第1期が91.0%、第2期は89.4%まで低下していた。

3. 主な疾患の発生状況

1) 急性呼吸器感染症

報告数 4,360名（5月 4,343名）。2025年4月7日にサーベイランスが開始された。高知市、中央西、中央東、須崎、安芸、幡多の順に多く報告された。6月は検体の搬入がなく、5月は提出された2検体のうち2検体から病原体が検出され、Adenovirus 2とRhinovirusが各1件検出された。

2) インフルエンザ

報告数 1名（5月 6名）。2023年以降は1年中ゼロになることはない。2025/26シーズンは 11月から流行が始まり、12月をピークとした標準的な流行規模だった。11月以降にAH3 NTが25件、B/Victoriaが16件検出され、主な流行株であった。6月は高知市から1名の報告があった。

3) 新型コロナウイルス感染症

報告数 71名（5月 28名）。図1に2023年5月以降の定点報告数を示す。2022年以降は年末年始と夏に流行がみられていたが2025/26年は年末年始のピークを形成しなかった。6月は増加に転じたが、夏の流行規模がどの程度になるのか注目される。高知市、中央東、中央西、安芸から表記の順に多く報告された。県下でのウイルス株に関する直近の解析では、1月にPQ. 2. 8. 1が2件、RC. 1、PQ. 2. 1が各1件検出されている。

4) 咽頭結膜熱

報告数 32名（5月 20名）。2024年5月以降は平年並の報告数である。安芸以外から報告があり、須崎と幡多でとくに多かった。ウイルスは検出されていない。

5) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 60名（5月 65名）。2024年は過去10年間で最多だったが、2025年以降は平年並で推移している。県下全域から報告があり、高知市と須崎でとくに多かった。細菌は検出されていない。

6) 感染性胃腸炎

報告数 181名 (5月 186名)。2020年以降は少ない数で推移し、2025年3月に増加がみられたが、その後は平年よりも少ない。県下全域から報告があり、高知市と安芸でとくに多かった。病原体は検出されていない。

7) 水痘

報告数 12名 (5月 5名)。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移している。安芸以外の全域から報告があった。

8) 手足口病

報告数 173名 (5月 8名)。2024年は過去10年で最大の流行でCoxsackievirus A6、A10とA16の3種類のウイルスが流行した。2026年は5月から流行が始まった。6月は幡多以外の全域から報告があり、須崎と高知市がとくに多かった。手足口病の患者からCoxsackievirus A6が5月に2件、6月は10件検出された。

9) 伝染性紅斑

報告数 1名 (5月 5名)。2024年10月から増加し、2025年は過去10年間で最多の報告数となった。6月は高知市から1名が報告された。2025年以降に同症の患者から検出されたHuman parvovirus B19が33件に昇っている。

10) 突発性発疹

報告数 14名 (5月 17名)。想定内の変動である。

11) ヘルパンギーナ

報告数 46名 (5月 10名)。2022年は過去10年間で最小、翌2023年は最大の流行、2024年は原因ウイルスが不明だった。2025年は5～10月に流行し、流行株はCoxsackievirus A4であった。2026年は5月から流行が始まり、6月は幡多以外の全域から報告があった。ウイルスは検出されていない。

12) 流行性耳下腺炎

報告数 1名 (5月 2名)。須崎から1名が報告された。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。

13) RSウイルス感染症

報告数 30名 (5月 36名)。2021年から5年連続で夏季の流行を認めた。2026年は1月から増加に転じ、以後は微増を続けていたが、5月には減少に転じ、大きな流行には至っていない。高知市、安芸、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

14) 流行性角結膜炎

報告数 0名 (5月 1名)。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。

15) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (5月 0名)。2017年以降は年間一桁の報告数で推移したが、2024年は11名に達した。25年は5名、本年はすでに5名が報告されている。

16) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 1名 (5月 0名)。高知市から10代後半の患者が1名報告された。2017年以降は年間10名以下の少ない報告数で推移している。

17) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 13名 (5月 13名)。2024年は過去10年間で最大の流行となり、同10月をピークに減少に転じたが25-26年も増減を繰り返しながら報告は続いている。幡多と高知市から報告された。

基幹定点の月報疾患

18) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 25名 (5月 26名)。中央東、高知市、幡多から報告があった。

19) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (5月 0名)。年間0～2名の報告にとどまっていたが、2025年は累計4名が報告された。26年は1例が報告されている。

【参考】

年別全数報告（令和8年6月）

類型	病名	報告年														
		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
2	結核	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	59	32
	計	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	59	32
3	コレラ															
	細菌性赤痢						2									
	腸管出血性大腸菌感染症	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	12	9
	腸チフス				1				1							
	パラチフス															
	計	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	12	9
4	A型肝炎				3	1			2					1	1	
	E型肝炎	1							2	1		1				
	オウム病						1									
	Q熱															
	サル痘												1			
	重症熱性血小板減少症候群		3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	10	15	4
	つつが虫病	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3	6	1
	デング熱		3	2	1				2							1
	日本紅斑熱	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	25	4
	日本脳炎															
	マラリア								1				1	1		
	レジオネラ症	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	11	1
	レプトスピラ症	2	1				1						1		1	
	計	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32	59	11
5	アメーバ赤痢	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1		
	ウイルス性肝炎	3		1			2	1	1	2	2	2	1		2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	13	5
	急性弛緩性麻痺							1	2				1	2		
	急性脳炎	1		1	1	1	1		2	1	1	2			2	
	クロイツフェルト・ヤコブ病			2			2	1	1	3		1	1		1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	2	3
	後天性免疫不全症候群	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	3	
	ジアルジア症	1						1							2	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	7	1
	侵襲性肺炎球菌感染症		1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	17	10
	水痘（入院例に限る）				2	1	1	3		3	3	3	1		1	
	髄膜炎菌性髄膜炎														5	
	梅毒	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	36	15
	播種性クリプトコックス症					1	3	5				4	3	1		1
	破傷風	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1	2	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1		1	1								
	百日咳							173	172	35	3	9	7	4	1327	28
	風しん	4	9	1				3								
	麻疹														4	
	計	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	109	97	1424	64
総計		193	164	210	210	256	238	398	400	214	221	221	216	196	1554	116

2026年月別全数報告

類型	病名	報告月						総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	
2	結核	4	2	10	7	5	4	32
3	腸管出血性大腸菌感染症		1	1	3		4	9
4	重症熱性血小板減少症候群				1	2	1	4
	つつが虫病		1					1
	デング熱		1					1
	日本紅斑熱				2	1	1	4
	レジオネラ症	1						1
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				2		3	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			2			3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1						1
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		2	1	4	1	10
	梅毒		7		3	3	2	15
	播種性クリプトコックス症						1	1
	百日咳	9	6	5	1	2	5	28
総計		18	18	18	22	17	23	116

高知県感染症情報 月報（54定点医療機関）

2026年 6月

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症（ARI）	138	652	2,831	393	193	153	4,360	4,343	6,350
	インフルエンザ			1				1	6	19
	新型コロナウイルス感染症	1	16	51	3			71	28	101
小児科	咽頭結膜熱		2	14	1	9	6	32	20	31
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	10	35	2	8	4	60	65	264
	感染性胃腸炎	12	21	124	11	10	3	181	186	293
	水痘		3	5	1	2	1	12	5	13
	手足口病	5	19	100	3	46		173	8	66
	伝染性紅斑			1				1	5	60
	突発性発疹			11		2	1	14	17	38
	ヘルパンギーナ	3	11	27	2	3		46	10	98
	流行性耳下腺炎					1		1	2	5
	RSウイルス感染症	1	2	27				30	36	33
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								1	2
STD	性器クラミジア感染症			4			2	6	7	8
	性器ヘルペスウイルス感染症								1	2
	尖圭コンジローマ			1				1		
	淋菌感染症		1				1	2		
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎			1				1		
	マイコプラズマ肺炎			3			10	13	13	15
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）								1	6
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		10	13			2	25	26	22
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計(ARIを除く)		23	95	418	23	81	30	670	437	1,076
前月		9	45	268	23	52	40			
前年同月		16	113	593	76	106	172			
小児科定点数		1	4	8	2	2	2			

高知県感染症情報 月報（54定点医療機関）

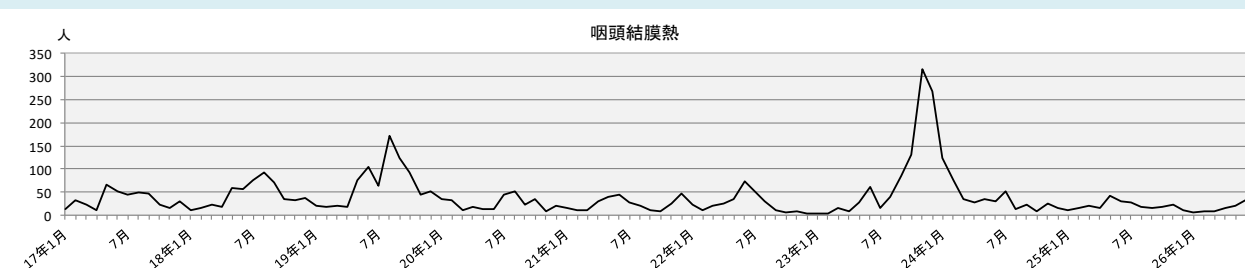
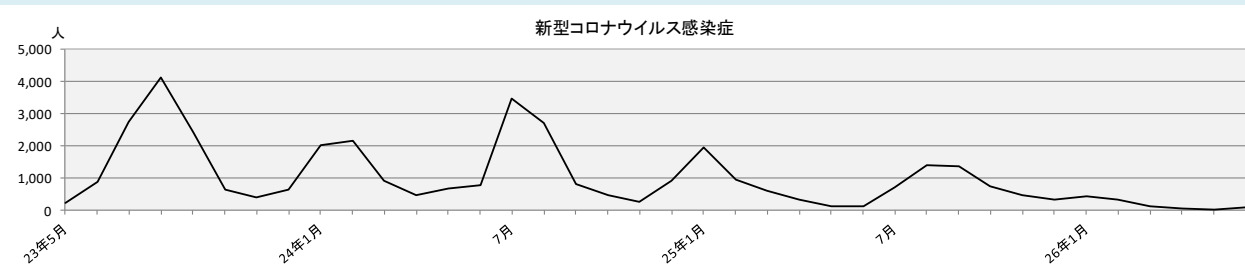
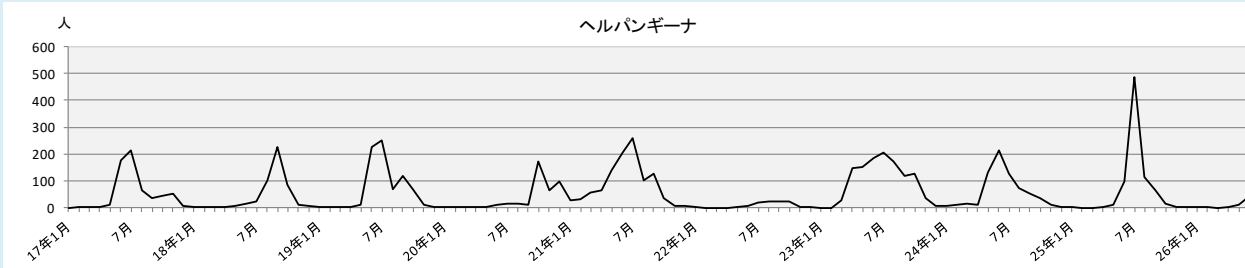
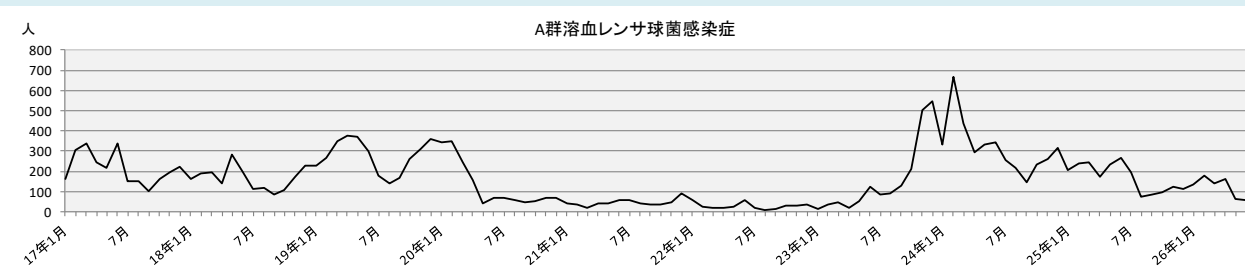
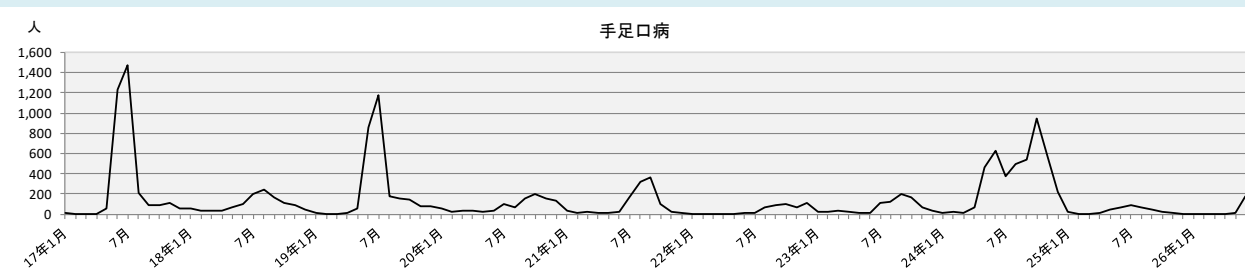
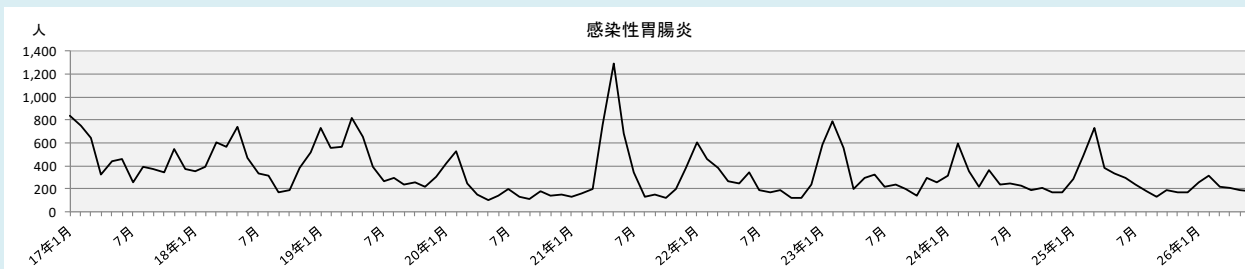
2026年

6月

定点当たりの人数

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症 (ARI)	46.00	93.15	217.77	98.25	48.25	25.50	117.84	114.30	167.12
	インフルエンザ			0.08				0.03	0.16	0.50
	新型コロナウイルス感染症	0.33	2.28	3.93	0.75			1.91	0.74	2.66
小児科	咽頭結膜熱		0.50	1.77	0.50	4.50	3.00	1.69	1.00	1.55
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	2.50	4.39	1.00	4.00	2.00	3.15	3.25	13.20
	感染性胃腸炎	12.00	5.25	15.51	5.50	5.00	1.50	9.53	9.30	14.65
	水痘		0.75	0.63	0.50	1.00	0.50	0.63	0.25	0.65
	手足口病	5.00	4.75	12.51	1.50	23.00		9.10	0.40	3.30
	伝染性紅斑			0.13				0.05	0.25	3.00
	突発性発疹			1.38		1.00	0.50	0.74	0.85	1.90
	ヘルパンギーナ	3.00	2.75	3.39	1.00	1.50		2.42	0.50	4.90
	流行性耳下腺炎					0.50		0.05	0.10	0.25
	RSウイルス感染症	1.00	0.50	3.38				1.57	1.80	1.65
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								0.33	0.67
STD	性器クラミジア感染症			2.00			1.00	1.00	1.17	1.33
	性器ヘルペスウイルス感染症								0.17	0.33
	尖圭コンジローマ			0.50				0.17		
	淋菌感染症		0.50				0.50	0.33		
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		
	マイコプラズマ肺炎			0.60			10.00	1.64	1.64	1.89
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)								0.13	0.76
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		10.00	2.60			2.00	3.13	3.25	2.75
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		22.33	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	30.87	18.60	48.21
前月		9.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00			
前年同月		11.66	24.10	66.37	34.25	50.75	52.71			

高知県の注目される疾患の月別推移



高知県感染症情報（月報）

2026年6月

検査情報

ウイルス，細菌の分離状況

令和8年6月はウイルス26件、細菌1件の搬入があり、そのうち ウイルス25件の病原体を検出し、5月に搬入された検体からウイルス5件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Coxsackievirus A6 12件、Cytomegalovirus 4件、Human herpes virus 6 4件、Human herpes virus 7 2件、human parvovirus B19 1件、Rhinovirus 7件であった。

ウイルス，細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	6	男	不明熱	39℃,	ぬぐい液	5/20	Rhinovirus
2	2	女	手足口病	39℃, 腹痛, 発疹,	ぬぐい液	5/26	Coxsackievirus A6
3	4	男	流行性耳下膜炎		ぬぐい液	5/29	Rhinovirus
4	1	男	手足口病	40℃, 咳嗽, 発疹,	ぬぐい液	5/29	Cytomegalovirus Human herpes virus 6
5	2か月	女	無菌性髄膜炎	40℃,	ぬぐい液	6/4	Rhinovirus
6	3	男	水痘	38℃, 発疹,	ぬぐい液	6/6	Rhinovirus
7	1	女	手足口病	39℃, 咳嗽, 上気道炎, 発疹,	ぬぐい液	6/8	Rhinovirus
8	1	女	手足口病	38℃, 水疱,	ぬぐい液	6/8	Coxsackievirus A6
9	1	女	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	6/13	Coxsackievirus A6 Human herpes virus 6
10	2	女	手足口病	40℃, 発疹,	ぬぐい液	6/15	Coxsackievirus A6 Human herpes virus 6
11	1	男	手足口病	40℃, 発疹,	ぬぐい液	6/15	Coxsackievirus A6
12	1	男	手足口病	40℃, 発疹,	ぬぐい液	6/15	Cytomegalovirus
13	1	男	手足口病	40℃, 発疹,	ぬぐい液	6/15	Coxsackievirus A6
14	1	男	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	6/15	Coxsackievirus A6
15	1	男	手足口病疑い	38℃, 発疹,	ぬぐい液	6/15	Coxsackievirus A6
16	1	男	手足口病	38℃, 発疹,	ぬぐい液	6/15	human parvovirus B19 Coxsackievirus A6 Cytomegalovirus
17	1	女	手足口病	40℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	6/15	Coxsackievirus A6 Human herpes virus 7
18	1	女	手足口病	40℃, 発疹,	ぬぐい液	6/15	Coxsackievirus A6
19	1	女	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	6/19	Coxsackievirus A6 Cytomegalovirus Human herpes virus 6
20	1	男	手足口病	発疹,	ぬぐい液	6/20	Rhinovirus
21	1	男	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	6/22	Human herpes virus 7 Rhinovirus

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2026年						2026年 総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1							0
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4			1				1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264			2				2
	計			3				3
RSウイルス感染症	Adenovirus 1			1				1
	Respiratory syncytial virus B			2				2
	Rhinovirus							0
	計			3				3
咽頭結膜熱	Adenovirus 1							0
	Adenovirus 2							0
	Adenovirus 5							0
	Adenovirus C							0
	Respiratory syncytial virus B			1				1
	計			1				1
インフルエンザ	Influenza virus A H1pdm09							0
	Influenza virus A NT							0
	Influenza virus A H3 NT	1						1
	Influenza virus B/Victoria							0
	計	1						1
感染性胃腸炎	Astrovirus NT		2					2
	Norovirus GII NT	1	4	1	5	7		18
	Sapovirus genogroup unknown		1					1
	Rhinovirus					1		1
	計	1	7	1	5	8		22
水痘	Human herpes virus 7				1	1		2
	Influenza virus A NT	1						1
	Influenza virus A H3 NT	1						1
	Varicella-zoster virus	2			1	1		4
	Rhinovirus						1	1
	計	4			2	2	1	9
手足口病	Coxsackievirus A4							0
	Coxsackievirus A6					2	10	12
	Coxsackievirus A10							0
	Cytomegalovirus					1	3	4
	Enterovirus71							0
	Epstein-Barr virus		1					1
	Human herpes virus 6					2	3	5
	Human herpes virus 7		2			1	2	5
	human parvovirus B19						1	1
	Rhinovirus		1				3	4
	計		4			6	22	32
伝染性紅斑	Epstein-Barr virus			1				1
	Human herpes virus 6							0
	Human herpes virus 7		1	1	1			3
	human parvovirus B19			1	1			2
	Rhinovirus	1						1
	計	1	1	3	2			7

臨床診断名	病原微生物	2026年						2026年 総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	
突発性発疹	Echovirus 18							0
	Epstein-Barr virus					1		1
	Human herpes virus 6			1		1		2
	計			1		2		3
流行性耳下腺炎	Rhinovirus			1		1		2
	計			1		1		2
無菌性髄膜炎	Rhinovirus						1	1
	計						1	1
その他	Adenovirus 1		1					1
	Adenovirus 2		1					1
	Adenovirus C				1			1
	Astrovirus NT				1			1
	Coxsackievirus A6						1	1
	Cytomegalovirus	1	3					4
	Epstein-Barr virus	1		1				2
	Human herpes virus 7	1	2		1			4
	Norovirus GI NT				1			1
	Norovirus GII NT	1	1					2
	Respiratory syncytial virus B		1					1
	Rhinovirus	2	3	1	1	2		9
	Rotavirus group A G3		1					1
	計	6	13	2	5	2	1	29
総計		13	25	15	14	21	25	113

臨床診断名	病原微生物	2025年										2025年 総計	2026年						2026年 総計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			1月	2月	3月	4月	5月	6月	
急性呼吸器感染症	Adenovirus NT	1	1	2			2		2			8	1						1
	Adenovirus C			4								4							0
	Adenovirus 1		1			1	1	3				6							0
	Adenovirus 2		3	2	1			1	1			8					1		1
	Adenovirus 5								1			1							0
	Coxsackievirus A4			1		1						2							0
	Echovirus 9								1			1							0
	Echovirus 18		1									1							0
	Enterovirus NT			1				1				2	1	2					3
	Human metapneumovirus	3	1									4		1					1
	Influenza virus A H1pdn09				2	1						3							0
	Influenza virus A H3 NT					2	5	1	11	5		24	4	3					7
	Influenza virus A NT				1	1	2			1		5	1	1					2
	Influenza virus B/Victoria	6	1	2					6	1		16	3	5		1			9
	Influenza virus B NT						1					1							0
	Parainfluenza virus 1				1				1			2							0
	Parainfluenza virus 2				2		1		1	1		5	2						2
	Parainfluenza virus 3		10	18	12	1		3				44							0
	Parainfluenza virus 4		1	1	1	1		5	2	1		12	1	1					2
	Respiratory syncytial virus A	1	1	2	1							5	1	1	1				3
	Respiratory syncytial virus B	3	2	4		1		3	1			14		1	3	1			5
	Rhinovirus	9	11	8	6	6	4	8	6	1		59	5	2	1	1	1		10
	SARS-CoV-2	10	3	2	2	15	14	18	8	3		75	8			1			9
検査検体数		31	28	27	22	26	25	31	28	10		228	20	13	6	4	2	0	45
検出検体数		28	24	25	21	25	23	28	28	10		212	19	12	5	3	2	0	41
検出率 (%)		90.3	85.7	92.6	95.5	96.2	92.0	90.3	100.0	100.0		93.0	95.0	92.3	83.3	75.0	100.0		91.1

1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。